

## 4.1 救助活動



土砂崩れ現場における消防、警察、自衛隊等の救出活動(緑区誉田町3丁目)





土砂崩れ現場における消防、警察、自衛隊等の救出活動(緑区誉田町3丁目)

## 4.2 避難所運営



避難の様子(越智公民館)



避難者受付(誉田公民館)



避難者支給品(越智公民館)





避難の様子(千城台コミュニティセンター)

## 4.3 他機関、民間事業者及びボランティアによる支援

### ブルー シートの 養生

民間事業者からボランティアの協力を得て、  
破損した住宅の屋根をブルーシートで養生



中央区本町



中央区神明町





ブルーシートで養生した家屋(誉田駅周辺)

### ■ ブルーシート養生実施数及び民間事業者派遣職人数

	9月	15日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	合計
実施数	中央区	17	2	0	4	8	3	8	3	7	10	6	2	3	73
	花見川区	4	2	0	0	1	2	0	0	0	2	1	0	0	12
	稲毛区	2	2	0	2	0	4	0	0	0	2	1	0	0	13
	若葉区	20	4	2	8	0	3	4	2	5	0	3	0	2	53
	緑区	12	1	1	4	2	6	0	0	6	2	3	6	1	44
	美浜区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
	合計	57	11	3	18	11	18	12	5	18	18	14	8	6	199
民間企業職人数	116	15	7	21	23	22	9	6	17	22	24	4	7	293	



倒木  
処理

建設業協会、陸上自衛隊の協力を受け、倒木処理(若葉区富田町)



電気  
自動車の  
派遣

民間事業者の協力を受け、停電している施設に電気自動車を派遣し給電



響の杜学園



停電した施設で電気自動車の給電により扇風機を動かしている様子(響の杜学園)



越智公民館



携帯電話  
充電器の  
提供



携帯電話充電コーナー(嘗田公民館)



民間事業者の協力を得て、NTTdocomo携帯電話マルチチャージャーを設置(嘗田公民館)



携帯電話充電コーナー(越智公民館)



民間事業者の協力を得て、NTTdocomo携帯電話マルチチャージャーを設置(越智公民館)



### 災害時用 公衆電話 の設置

停電に伴う、通信断絶が発生したことから、民間事業者の協力を得て、公民館に無料公衆電話を設置(越智公民館)



### 応急 給水

浄水場は稼働していたが、停電の影響により自家水道や集合住宅などの各家庭において多くの断水が発生したため、市関係部が応急給水を実施したほか、東京都、千葉県、川崎市からの支援を受け万花台集会所等で応急給水を実施した。

また、川崎市については、市関係部と連携し、巡回による給水活動も行った。

#### ■ 応急給水に係る受援状況

自治体名	給水期間	給水場所
東京都	9月11日	万花台集会所(緑区)、赤かぶ園(中央区)
千葉県※	9月12～17日	下大和田集会所(緑区)
川崎市	9月11～18日	泉市民センター、千城小学校、更科小学校富田分校、本郷自治会館(若葉区)

※下大和田集会所以外にも、本市内の千葉県企業局給水地域において応急給水を実施



入浴施設の提供

陸上自衛隊による入浴施設の提供  
(千葉市消防総合センター臨時駐車場)





## 移動販売

食料・日用品等の移動販売車の物資が不足している  
停電地域を巡回し販売



若葉区大宮台



若葉区大宮台



若葉区更科町



若葉区更科町

### ■ 移動販売実施状況

実施日時	実施場所	利用人数
9月11日(水)	中央区(生浜公民館 他3か所)	35人
	若葉区(大宮台自治会館 他1か所)	97人
9月12日(木)	中央区(仁戸名遊園地第3公園)	26人
	若葉区(更科公民館 他2か所)	48人
9月13日(金)	花見川区(こてはし台3、4丁目)	41人
	若葉区(更科公民館 他2か所)	77人
9月14日(土)	花見川区(こてはし台自治会館 他2か所)	49人
	若葉区(本郷自治会館)	3人
	緑区(板倉集会所)	10人

一般ボランティア等による支援



屋根が破損し、水浸しとなった家財道具の片付け  
(緑区平川町)



土砂崩れにより流出した土砂の土のう詰め及び撤去  
(若葉区野呂町)



倒木や瓦礫の片付け  
(花見川区犢橋町)



流出した土砂の清掃  
(緑区大木戸町)

## 4.4 市による応急支援

応急  
給水

給水車による給水(ほんだくらぶ)





災害  
廃棄物の  
処理

倒木、トタン等の災害廃棄物の保管



中央・美浜環境事業所



若葉・緑環境事業所

■ 令和元年房総半島台風等による災害廃棄物処理量(令和2年6月30日現在)

(単位：t)

施設名	令和元年				令和2年						計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北清掃工場	13.93	31.69	12.04	12.68	5.04	2.67	0.64	7.17	1.53	45.18	132.57
新港清掃工場	5.49	21.80	31.41	20.01	1.48	9.05	1.60	1.32	0.00	0.00	92.16
新浜リサイクルセンター	139.18	212.29	192.89	115.43	22.38	23.40	5.96	47.64	42.35	72.71	874.23
民間処理施設	9.83	133.50	75.83	15.17	11.46	241.98	237.62	289.02	281.20	107.41	1403.02
計	168.43	399.28	312.17	163.29	40.36	277.10	245.82	345.15	325.08	225.30	2501.98

※最終的に約3,500tの災害廃棄物が発生する見込み

## 入浴施設の提供



入浴施設(いきいきプラザ)への送迎(白井公民館)

## ■ いきいきプラザ浴室等無料利用者数(令和元年9、10月)

施設名	設 備	無料利用者数(人)		
		9月	10月	合計
花見川いきいきプラザ	風呂	1,340	422	1,762
稲毛いきいきプラザ	風呂	523	215	738
緑いきいきプラザ	風呂	2,482	609	3,091
若葉いきいきプラザ	風呂	2,474	707	3,181
中央いきいきプラザ	シャワーのみ	282	97	379
美浜いきいきプラザ	シャワーのみ	35	8	43
合 計		7,136	2,058	9,194

## ■ 一般公衆浴場(銭湯)無料開放の利用者数(令和元年9月)

(単位：人)

区名	施設数	大人	中人(小学生)	小人(幼児)	利用者合計
中央区	5	332	11	7	350
花見川区	3	37	1	2	40
稲毛区	2	62	6	1	69
合 計	10	431	18	10	459



クーラー  
バスの  
設置

停電により、避難所のクーラーが使用できなくなったため、避難者休憩所として緊急でクーラーを利用できるバスを派遣



更科公民館



白井公民館

戸別  
訪問による  
広報

停電により広報無線が届かない地域での移動販売等に関する広報(若葉区)

## 4.5 帰宅困難者への支援

令和元年10月25日大雨に伴う帰宅困難者が一時的に滞在できるよう、市施設等を開放し、水、毛布等の提供を行った。

## ■ 一時滞在施設の開設状況

施設名	開設時間	定員	受付人数
蘇我コミュニティセンター	16:30～翌10:00	2,210名	350名
市民会館	17:00～翌10:00	2,390名	370名
生涯学習センター	19:45～翌 8:00	400名	106名
千葉県本庁舎1階ロビーほか	21:10～翌11:00	250名	64名
千葉県南庁舎2階会議室	21:10～翌 8:00		15名
千葉県文書館	21:00～翌 8:00	100名	21名
鎌取コミュニティセンター	22:30～翌12:30	40名	26名

## 4.6 生活再建へ向けた支援

### り災証明書の発行

り災証明書は、被災者生活再建支援金の支給や住宅の応急修理、義援金の配分等の支援措置の適用の判断材料や保険金の支払の届出等に幅広く活用され、被災者支援の適切かつ円滑な実施を図る上で極めて重要な役割を果たしている。

令和元年房総半島台風等に係る、り災証明書の受付を各区役所地域振興課で行ったほか、市民の利便性の向上を図るため、一部の市民センター等でも受付を行った。

また、り災証明書を発行するための住家被害認定調査においては、迅速に調査を行うため、各区地域振興課、市税事務所職員のほか、他部署からの応援職員を配置し、調査を行った。さらに、横浜市からの支援を受け、10月4～8日までの間、協働で調査を行った。

この度の災害では、被害の多かった中央区、若葉区、緑区を中心に、り災証明書を11,476件発行した。(令和2年6月30日現在)

### り災証明書発行件数

(令和2年6月30日現在)

項目	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
全壊	2	1	0	6	15	0	24
大規模半壊	1	0	0	7	7	0	15
半壊	84	12	15	68	71	0	250
一部破損	1,862	646	666	1,726	1,558	125	6,583
一部損壊(準半壊)※	1	0	1	2	14	0	18
一部損壊(10%未満)※	7	1	4	9	88	0	109
床上浸水	1	0	0	1	0	0	2
床下浸水	0	0	0	1	0	0	1
その他(非住家)	789	171	146	405	944	14	2,469
その他(建物以外)	329	169	170	956	343	38	2,005
合計	3,076	1,000	1,002	3,181	3,040	177	11,476

※令和元年10月25日大雨に係る被害認定調査については新区分を適用



国への  
要請



令和元年9月19日に菅官房長官、武田防災大臣に対し被害の実態を伝えるとともに、住家被害認定基準の変更等を要請

他自治体  
への支援

本市同様に令和元年房総半島台風等により被災した君津市、南房総市、館山市へ本市職員を派遣し、復旧を支援した。

○君津市への派遣

9月15日から17日までの間、延べ9名の保健師を派遣し、健康相談を行ったほか、9月20日から21日までの間、本市職員を派遣し、期日前投票事務を行った。

○南房総市への派遣

9月17日から30日までの間、延べ35名の本市職員を派遣し、り災証明書に係る住家被害認定調査を行った。

○館山市への派遣

11月21日から12月12日までの間、延べ95名の本市職員を派遣し、各種被災者支援制度に係る申請窓口での受付・相談を行った。

○その他

多古町、成田市、山武市、福島県相馬市、南相馬市へ物資の支援等を行った。